

総額 24,919百万円 (点検評価による減額 270百万円)

評価項目		概要	現場写真	評価結果	委員からの主な意見
箕面市施工区間 (大阪メトロ業務委託分)	令和3年度	開削区間 ①設計変更の承認通知 (第6回設計変更)		適正	仮設材は3者見積(最安値単価)を採用しており、かつ建設物価の類似品の積算額とも価格比較し、適正と認められる。設計照査費は国ガイドラインに即して設計変更の対象を是正する。
				適正	全体スライドは契約書に基づき適正に算定されている。設計照査費は、国ガイドラインに基づいて合理的な整理となっており、適正と認められる。
		高架区間 ②出来高検査 (令和3年度分)		適正	出来高図、出来高計算書及び出来高明細書に基づき出来高計上工種及び数量は、適正と認められる。
				適正	出来高図、出来高計算書、出来高明細書と出来高数量は整合し、適正と認められる。出来形の検査値も許容値内であり、適正と認められる。
	令和4年度	開削区間 ⑤出来高検査 (最終)		適正	これまで確認してきた設計変更に基づいた出来高であり、出来高図、出来高計算書、出来高明細書に基づく工種毎の数量も設計書類と整合が確認でき、適正と認められる。
				適正	出来高図、出来高計算書、出来高明細書により工種毎に数量の妥当性及び設計書等との整合を確認し、適正と認められる。
		高架区間 ⑥設計変更の承認通知 (第10回設計変更)		適正	橋桁の過密鉄筋部の施工では、高流動コンクリート使用は適正と認められる。スライド積算額は市積算システムでの試算とも比較し、適正と認められた。
				適正	足場工の追加等は設計変更の必要性は認められ、国基準で適正に積算されている。全体スライドも国土交通省スライド条項に準拠し、積算は適正と認められる。
	高架区間 ⑦出来高検査 (最終)		適正	これまで確認してきた設計変更内容に基づいた出来高であり、出来高図、出来高計算書、出来高明細書に基づく工種・数量も設計図書と整合しており、適正と認められる。	
			適正	出来高図、出来高計算書、出来高明細書により工種毎に数量の妥当性及び設計書等との整合を確認し、適正と認められる。	

総額 769百万円 (点検評価による減額 3百万円)

評価項目		概要	現場写真	評価結果	委員からの主な意見
箕面市施工区間(復旧工事等)	⑧北急電鉄委託工事 (インフラ部鋼板設置)	桁間の遊間における落下防止機能カバーとなる鋼板を設置する工事 ※「遊間」=温度変化や乾燥収縮、地震時の移動量により、桁同士がぶつかって損傷しないよう設けられる隙間のこと。		適正	鋼板材料費は3者見積を採用しており、適正と認められる。
				適正	図面等により数量は適正である。共通仮設費率はシールド工事との合併施工であるので、経費率を是正する。
	⑨北急電鉄委託工事 (船場駅構内ドレン設置)	船場駅内の雨水を地下3階排水ピットまで導水するドレン管設置工事		適正	既に北急電鉄が駅舎内装工事を施工しているため、内装工事への追加により経費縮減及び工程縮減を図ること。
				適正	内装工事と併せて効率的、経済的な施工と認められ、適正と認められる。今後の整備についても事業主体間で密に連携を図ること。
	⑩復旧工事 (道路・河川等)	河川復旧工事における復旧範囲の縮小、道路復旧工事における照明等の残置、再利用等工事費縮減		適正	延伸工事に必要な工種であり、適正な内容と認められる。設計についても基準に準拠して積算している。
				適正	変更内容は適正である。限られたヤード現場条件に鑑み、交通誘導員の配置、車両運行や工程上必要な通信設備の仮設についても必要である。積算も適正と認められる。
⑪復旧工事 (大阪ガス復旧)	仮移設したガス供給施設の復旧		適正	「大阪ガス移設工事単価」に基づき、適正と認められる。	
			適正	仮移設したガス施設の復旧は必要な工事であり、移設工事費も基準に基づき、適正と認められる。	
⑫北出入口本体工事	箕面船場阪大前駅の北出入口整備工事		適正	工事費縮減も踏まえた仮設工法に変更しており、内容・積算とも適正と認められる。	
			適正	北出入口工事での土留め工法の変更は工事費縮減にもつながり、適正と認められる。今後の昇降設備の工場製作には一定の工期が必要なため、計画的に早期発注すること。	
⑬復旧工事 (国道423号側道擁壁)	国道423号側道擁壁(L1~L4)復旧工事		適正	擁壁築造・基礎コンクリート打設について、官積算での積み上げであり、適正と認められる。工事工程は、引き続き前後工事を担う北急電鉄と調整しながら進めること。	
			適正	擁壁復旧施工パッケージ、冷却塔基礎は標準歩掛による積み上げ計上で適正と認められる。施工場所での他事業者との輻輳については工程調整、安全管理を引続き徹底すること。	

総額 7,376百万円 (点検評価による減額 1百万円)

評価項目		概要	現場写真	評価結果	委員からの主な意見	
北大阪急行電鉄施工区間	令和3年度	⑭補助金交付決定 (第1回変更申請 【用地費】)	収用委員会採決結果に基づく補償金額の変更、収用委員会鑑定人手当の追加	-	適正 適正	収用委員会裁決に基づく補償金額及び鑑定人手当は、適正と認められる。 裁決結果に基づく適正な補償であり、鑑定人手当についても必要な費用である。
		⑮補助金交付決定 (第8回変更申請 【工事費】)	プレパックド軌道工の夜間から昼間作業への変更、電気設備・軌道等の材料購入 等 ※「プレパックド軌道」=プレパックドコンクリートを用いた防振軌道(弾性まくら木直結軌道)		適正 適正	作業内容を鑑みて、夜間作業は必要がないことが確認できる。電気設備・軌道等の材料購入費の計上も、適正と認められる。 延伸区間に必要な設備の新設・材料の購入と認められ、積算も適正である。引続き、北急電鉄と施工内容を確認し、夜間作業の必要性を精査すること。
		⑯補助金交付決定 (第9回変更申請 【工事費】・ 第2回変更申請 【設計費】)	桃山台車庫9番線新設工事における追加工事、障害物撤去工、消防協議に伴う避難経路等再検討及び設計変更 等		適正 適正	工事及び設計の変更は必要な内容と認められ、積算も適正と認められる。 設計変更の必要性が認められ、積算も含め適正と認められる。
		⑰出来高検査 (令和3年度分)	令和3年度に完了した工事の実績報告検査		適正 適正	出来高と設計関係書類は整合もとれている。適正と認められる。 適正である。品質についても北急電鉄管理基準に適合していることを確認した。
	令和4年度	⑱補助金交付決定 (第1回変更申請 【工事費】)	コイルばね防振軌道敷設工事、サードレールの設置、誘導無線システム電気工事 等 ※「コイルばね防振軌道」=コイルばね支承を用いた防振軌道(フローティングスラブ軌道)		適正 適正	延伸工事に必要な内容であり、公共工事設計労務単価を採用し、適正と認められる。誘導無線工事は既存線との一体化を図る必要から1者見積とするは認める。 土木、電気、軌道工事のいずれも変更内容は、適正と認められる。金額についても積算根拠が明確で、適正と認められる。
		⑲補助金交付決定 (第2回変更申請 【工事費】・ 第1回変更申請 【設計費】)	サードレール付帯設備設置工事、電気設計(通信、信号、内線、電路、変電)・軌道設計(線路諸標識類) 等		適正 適正	延伸工事に必要な工種であり、適正な内容と認められる。設計についても基準に準拠して積算している。 変更内容は適正である。限られたヤード現場条件に鑑み、交通誘導員の配置、車両運行や工程上必要な通信設備の仮設についても必要である。積算も適正と認められる。
		⑳補助金交付決定 (第3回変更申請 【工事費】)	新千里北換気所の建築設備工事、新駅における照明設備、分電盤等設備工事、自動改集札機設置工事 等		適正 適正	計画どおりの建築設備・電気工事内容であり、見積採用材料は3者見積を徴集しており、積算も適正と認められる。 建築設備・電気、運輸工事とも計画どおり適正である。自動改集札機等設置工事は、維持管理コスト縮減の観点からも全駅共通メーカーとする1者見積は、適正と認められる。
		㉑補助金交付決定 (第4回変更申請 【工事費】)	コイルばね防振軌道における一部鉄筋材料の加工の変更、桃山台車庫9番線新設工事における追加工事、駅務系ネットワーク機器の新設 等		適正 適正	過密鉄筋による鉄筋加工の変更は、現場状況に応じた必要な変更と認められる。スリップバーのカプセル数量違算などは是正する。 駅務系ネットワークシステムは、補助対象新規路線分と対象外既存線分が適正に区分されている。土木工事における鉄筋加工の変更は現場条件に合わせた変更で認められる。
		㉒補助金交付決定 (第5回変更申請 【工事費】)	船場駅・萱野駅における通信設備の設置、延伸線用のCTC装置(列車集中生後装置)設置、千里中央駅空調更新工事、サードレール敷設工事の実施数量精査 等		適正 適正	軌道工事等について作業の必要性は認めら、適正と認められる。千里中央駅空調機更新費用は、既存線と延伸線で事業按分による負担金額の算出ルールを協議すること。 軌道工事等について精査結果は、適正と認められる。CTC装置についても運行に必要な装置であり積算も適正と認められる。